

東日本大震災 発災 13 年目を迎えるにあたっての

防災復興支援センター長メッセージ

東北地方は、2024 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震の発生から 13 年目を迎えました。この地震とその後の津波、被災生活の中で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災されたすべての皆様、未だ復興の途上で厳しい生活を続けられている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災の際、東北地方は、たくさんの皆様からのご支援に支えられて、今日に至っております。東北地方の復興にご尽力いただきました皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

岩手県立大学防災復興支援センターも、まもなく設立 1 周年を迎えようとしております。この 1 年の間に、当センターは地域の様々な皆様に支えられながら、各地域の抱える地域防災上の課題解決と、自助・共助の力を身に着けた地域防災力の担い手育成に取り組んでまいりました。

東日本大震災及び東北地方で過去に経験してきた災害やその後、新たな災害で得た経験と教訓をもとに、様々な災害の被災地の皆様に役立てていただけるよう取り組んでまいります。

今後とも、当センターと岩手県立大学へのご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024 年 3 月 11 日

岩手県立大学 防災復興支援センター
センター長・教授・博士（農学）新田 義修